

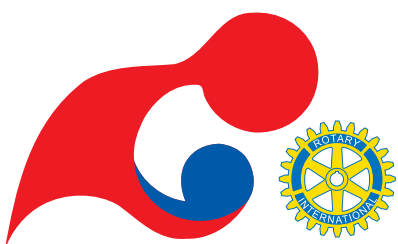
ANAN ROTARY CLUB

2009
4

Monthly Report



2008-2009



Make Dreams Real

the fiftieth 創立 周年記念式典

contents

- 阿南ロータリークラブ 創立50周年記念式典 2-3
- 2008-2009年度 徳島第I 第II分区合同IM 4
- 地区協議会 5
- 花見夜間例会 5
- 新入会員紹介 6
- 阿南RC俳句会 6
- 理事会報告 6
- ニコニコ委員会 7
- フォトギャラリー 8

創立50周年記念式典

2/14 創立50周年記念講演

阿南市文化会館 夢ホール

2/15 創立50周年記念式典・祝賀会

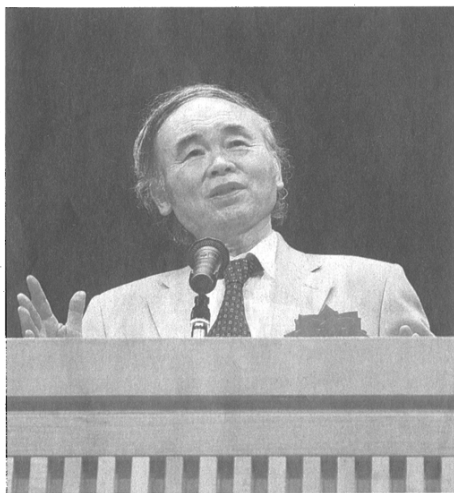
ロイヤルガーデンホテル

藤原正彦氏の講演の様子が、2009年2月23日の徳島新聞に掲載されました。

講演「日本のこれから、日本人のこれから」

自己利益ばかり
 一九八〇年代に世界の嫉妬や羨望を集めた日本の経営は見るも無残。雇用は義理人情の関係から契約と論理の関係になった。精神性を重んじ金銭崇拜には遠かった国が、今はどうだ。絶えず周囲の形勢をうかがい、有利と思っ方へ飛び付く風潮。昔なら「風見鶏」とばかりにされた者が賢者の代表となり、信条を貫く者が笑われる。「金で人の心を買える」と言う者も現れ

のだが、壊した主体は国民だ。国民が、自由や公平を掲げた市場原理主義や新自由主義の下で壊してきた。考えてほしい。最も自由で公平な競争をしているのは、弱肉強食の中で生きるだけだもの。人間社会をけだもの世界に変える考えを、国民が許してきた。何より見過ごせないのは、自由や公平に任せた経済が、人や社会、そして日本を支えてきた。国柄や



「日本人は惻隱を取り戻し、他国とは異質な国としてあるべきだ」と力説する藤原正彦さん—阿南市内

幽の浮くような考えが幅を利かせ、国がどこに向かえばいいか大局観を失い、その場しのぎ的な対応ばかりの時代。だからこそ、惻隱と三つの愛を取り戻し、全人類に向けて発信したい。日本は常に異質な国、他国とは全然違った国であるべきなのだ。

弱者思いやる精神を

最近十年の日本を振り返ると、政治家や官僚、財界が改革に次ぐ改革を進め、国民はそれを熱狂的に支持してきた。ところが、政治も経済も学力も医療も人も、荒れ果てるばかり。地方は疲弊し、中小企業は痛めつけられた。

自己利益ばかり求めれば、残るのは勝者一人と十九人の敗者だ。祖国日本を、よこそこれほどにまで壊してくれたも、こから生まれた美しい情緒

独自の美的感受性を破壊し始めた。自由、公平の考えから子ども中心主義で凝り固まり、「できないと子どもが傷つく」と、国語や算数は薄っぺらになって活

「国家の品格」著者 藤原正彦さん語る

ベストセラー「国家の品格」(新潮新書)の著者でお茶の水女子大学教授の藤原正彦さん(六七)の講演会(阿南ロータリークラブ主催)が、阿南市内であった。藤原さんは「日本のこれから、日本人のこれから」と題し、「日本人は、発展を支えてきた日本人らしさを、当たり前と思っているうちに失っている。弱者を思いやる武士道精神の惻隱や、家族愛、郷土愛、祖国愛を取り戻すべきだ」と訴えた。

破壊された教育

と形だ。アインシュタインが絶賛した篤実さ、秋の虫の鳴き声や散る桜の花びらにもものあわれを感じ取る能力、法律や論理なくしてでも「おてんとさまが見ている」と目を律してきた国民性も含まれる。

大切な「三つの愛」

立ち直すには、国柄を取り戻すしかない。武士道精神で弱者敗者を思いやる「惻隱だ。イソップ童話の「北風と太陽」に例えると、北風が自由や平等を叫ぶことで、惻隱は太陽。じんわりと温めて、旅人が自然に上着を脱ぐようにする。

さらに大切なのは、家族愛、郷土愛、祖国愛。祖国愛といえは「戦争」につながるのか、学校では人類愛から教えている。それでいいのか。祖国や故郷、家族を愛して初めて、他国の人を尊重し思いやることができるはず。祖国愛や郷土愛の下支えがない人類愛は砂上の楼閣だ。



お礼のご挨拶

50周年実行委員長 三谷 裕昭

阿南ロータリークラブは昭和34年2月5日、小松島RCをスポンサークラブとして発足しました。チャーターメンバーは24名で、初代会長は仁木義策氏でした。

昭和34年時代を振り返りますと、ニュースでは「皇太子が正田美智子さんと結婚」「伊勢湾台風」「東京オリンピック決定」この年1月17日「山口百恵さん誕生」「マンガでは〈白土三平〉の忍者武芸帳」私は全巻読みました。TV番組では「スター一夜」「とんま天狗」「ローハイド」「兼高かおる」「世界の旅」、CMは「姓はオロナイン、名は軟膏」がヒットしました。外国映画は「ベンハー」も何度となく見ました。1月14日、第3次南極観測隊が「タロー」「ジロー」の奇跡的な生存を確認、さらに、昭和35年には東京タワー完成、巨人阪神の天覧試合で長島選手が9回の裏、村山投手よりホームランを打ちました。

私が阿南RC入会当時の25年前、上高地親睦旅行は大変楽しかった思い出がありますが、萩原会長からは宿泊ホテルに関し、「これなんじゃ」と怒られました。しかし、毎年の夏の海水浴とクリスマス家族会は非常に楽しく記憶に残り、これはRCの「本質」と思われます。

戦後生まれの私といたしましては、今までの人生が夢のようですが、現実にもどりますと「綾小路きみまろ」ではないですが、あれから「50年!!」過ぎました。今日の日本の姿をだれが予想できたのでしょうか。唯物論的物資文化を優先した、今年の資本経済の変遷には驚かされます。今は、104年前のシカゴと同じかもしれません。

昨日、阿南RC50周年記念事業として、できるだけ、市民への文化的社会奉仕になるようにと考え「藤原正彦氏」による、市民公開講演会を行い、タイムリーで意義があったものと思っています。

その他の記念事業として、南海地震対策用避難マップを阿南市内公民館14か所に設置、桜づつみ公園に時計台設置を行いました。くしくも50年前、阿南RC発足日と同じ2月15日日曜日、したがって本日は阿南RCの満50歳の誕生日に記念式典が開催できたのも、各ロータリークラブ皆様のおよび阿南RCクラブ会員とご家族の協力によるものと感謝いたしております。



お礼のことば

副会長 神原 常経

我がクラブ創立50周年記念祝賀会がこのように盛大に終始出来ましたことを心より御礼申し上げます。御来賓として御参会下さいました岩浅市長様、豊田ガバナー様よりは御懇篤なる御祝辞を頂戴いたしまして感激これに過ぎることはございません。大勢のロータリアンの方々や、市内の友好奉仕団体の皆様に重ねて感謝申し上げます。

我が阿南ロータリークラブは50年を道一筋に歩んでまいりました。これを機に更に先輩から引き継いだ伝統を継承しつつ、時代の変化にも即応し、皆様の御支援をいただきながら、会員一丸となって前進してまいりたいと思いを新たに致して折ります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致しまして、御礼の挨拶とさせていただきます。

2008~2009年度 国際ロータリー第2670地区 徳島第I・第II分区合同IM

日時：平成21年2月28日 参加者：若木・品川・石澤・兼松・峰・日下
場所：徳島県建設センター 清原・庄野・守野・吉田・植田・小松
登録者数：307名

IMテーマ『四国八十八ヶ所の心をかたちに』

講演会



講師：真鍋俊照氏
(第4番札所 大日寺住職)

四国八十八ヶ所遍路は「自然智」が根拠に成っているとされています。「自然智」は西暦700年頃、唐僧の神叡が吉野の山で求聞持によって得たと伝えられています。起源については、吉野・熊野の修験道に端を発していると言われています。吉野や熊野の行者の中には紀ノ川の河口を左に曲がらず、南海道の本道である淡路島を経由して海を渡り、他の行者に踏まれていない清浄な道を求めて四国の鳴門に上陸し、四国の邊地を踏む行者が現れた。役行者である行基とその弟子達、石鎚山で修行した寂仙・芳元などがあり、弘法大師もその一人です。

参拝の際、一本のローソクと三本の線香を上げます。ローソクは「過去の懺悔」線香は「煩惱を払う」意味があります。本来は、遍路は『死出の旅』であったが、現在では『癒しの旅』に様変わりしたが、「同行二人」の精神は不変です。

討論会

ロータリー活動の中心を成すのは「職業奉仕」であり、宗教とロータリークラブの関係により、積極的に支援できなかった。最近、お接待はお遍路さんに対してであって各寺院への支援ではないという判断で、活動が活発になってきた。世界遺産への登録運動も最初はロータリークラブの力で動き出し、現在は四国四県の自治体が連携して進み出した。

2670地区で歩き遍路用の石標の設置が進んでいる。徳島県内では、すでに28ヶ所に設置が終わっている「遍路」は四国八十八ヶ所でのみ使われる言葉で、「巡礼」「参拝」とは区別できる。2670地区のロータリアンの信念が歩き遍路用石標を建てた。石標とは別に接待木の植樹運動も始まっています。接待木とは果実のなる木（例えばミカン・柿・桃等）を遍路道に植え、お遍路さんに自由に採って食べてもらおうという趣旨です。すでに、阿南中央RCが福井の遍路小屋の横に植樹しました。勝浦町長もこの運動の趣旨を理解していただき、四国58市町村長会で働きかけて頂くようになっております。

お遍路さんが一番困るのがトイレです。NPO法人「遍路とおもてなしのネットワーク」が中心となって四国各地に「おもてなしステーション」（トイレ設備が完備した施設）を作る為にNTTドコモ・au・ソフトバンク・ローソン・サンクス等において協力してもらえるよう交渉中です。



3/15 地区協議会

高知文化プラザかるぽーと



第2670地区2009-2010年度地区協議会が3月15日(日)に高知文化プラザかるぽーとにて開催されました。

当日は南国高知にふさわしい暖かい陽気の中、当クラブからは兼松(会長)、守野(幹事)、西田(会計)、久米(クラブ奉仕)、日下(職業奉仕)、岸(社会奉仕)、田村(国際奉仕)、原田(新生代活動)、品川(ロータリー財団)、井村(米山奨学)、鳥海(会員増強)、六車(広報・IT)、峰(地区クラブ奉仕委員)の13名の会員が出席しました。

全体の会議では岡内ガバナーエレクトより次年度RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」についてお話いただき、部門別協議会では各会員次年度の活動に向けて意見を交わし、勉強してきました。



3/31 花見夜間例会

浜の浦緑地公園



親睦委員会

3月31日(火)年度末の多忙な仕事を終え、ほっとしたところで浜の浦公園へ32名の会員が集まり、例会報告に続き花見を楽しみました。

午前中は曇り空でしたが、幸い夕刻には晴天となり、風もなく絶好の花見日和となりました。桜の満開は数日先といった感じで、LEDイルミネーションに彩られた桜並木は夜空に浮かびあがっていました。ビールは喉にしみわたり、熱燗でホッと白い息を吐き、花見弁当で舌づつみ。藤崎会員の新開発商品、LED高輝度照明によりライトアップされた宴席では紳士が何時の間にか虎になり、大声を張り上げていました。2時間の集いはあっという間に終わりました。

多くの皆様のご参加ありがとうございました。



新入会員紹介



たか い かず のり
高井 一憲

(昭和26年7月20日生 57歳)

- 勤務先
高井木工株式会社
阿南市下大野町柴根134
TEL (0884) 22-3013
FAX (0884) 23-3909
- 自 宅
阿南市下大野町柴根134
- 入会年月日
平成21年1月6日
- 趣 味
四国八十八カ所参り



つつみ つね とし
堤 恒敏

(昭和30年9月12日生 53歳)

- 勤務先
四国電力株徳島支店阿南営業所
阿南市富岡町滝の下2の1
TEL (0884) 22-1211
FAX (0884) 23-6900
- 自 宅
阿南市学原町上水田12-1
- 入会年月日
平成21年3月17日
- 趣 味
サッカー

阿南ロータリー 俳句会



訃報聞き何を騒ぐか黄水仙

荒谷 隆文

冴返る二人で眺む陽明門

大上季美子

遠き日の母美しく草の餅

神原 鹿山

梅の香や二人目の孫うまれ来る

清原 真治

ふんだんに潮の香まぶし若布干す

品川 重晴

モノづくり大志を抱き卒業す

藤崎 稔

啓蟄や下水道工事動き初む

石澤 三朗



the **50th**
anniversary



■ 記念講演
2009年2月14日
阿南市文化会館 夢ホール

■ 記念式典・祝賀会
2009年2月15日
ロイヤルガーデンホテル

